

### 災害に強いまちづくり 特別委員会

25年第1回定例会において、委員会の最終報告を行いました。

この委員会は、23年3月11日発生した未曾有の大震災による甚大な被害を教訓に、既存の地域防災計画を見直し、新たな計画や対応を進める必要があると考え、その調査研究のため23年6月議会で設置されました。

委員会では、課題について、①緊急性を要する事項、②今回の災害による問題点、③推進すべき事項の3つに分類し、21回にわたる委員会を開催し、調査および意見集約の結果、国に対する意見書1件、町に対する要望ならびに要望書5件を提出し、議会としての地震災害対応マニュアルの策定を行いました。

町民の安全安心のまちづくりの一助となる事を望みます。

委員会開催状況

平成23年	7月 6日	・今後の活動予定について
	7月19日	・電力需給対策について ・放射性物質対策について ・瑞穂町に避難してきている方への対応について
	8月 8日	・電力需給対策について ・放射性物質対策について ・瑞穂町に避難してきている方への対応について
	8月25日	・町への要望、国等への意見書の内容について
	9月30日	・住宅耐震改修の促進について ・水の安全性確保について
	10月26日	・住宅耐震改修の促進について
	11月11日	・住宅耐震改修の促進について ・水の安全性確保について
	12月16日	・水の安全性確保について ・被災地支援の継続について
24年	1月20日	・水の安全性確保について ・災害発生後の行政の役割の重要性について
	2月16日	・立川断層の正確な情報把握について ・自主防災組織について
	3月27日	・自主防災組織について
	4月17日	・自主防災組織について ・防災訓練のあり方について
	5月14日	・夏の電力不足について ・当委員会の今後の方向性について
	5月28日	・夏の電力問題について
	6月19日	・災害に対する備蓄について ・災害弱者への対応について
	7月18日	・災害に対する備蓄について ・災害時要援護者への対応について
	8月22日	・災害時要援護者への対応について
	9月26日	・災害時要援護者への対応について ・避難所の充実について
	11月 2日	・避難所の充実について ・防災教育について ・消防団担当地区の再編について
	12月18日	・災害発生時の議会 ・議員の対応について
25年	2月18日	・委員会調査報告のまとめについて

計21回

### 日野市の地域サポーター制度を視察

町では、職員がボランティアで地域に入り活動をするという、「地域情報コーディネーター制度」を提案し、準備を進めていますが、この制度には課題も多いと感じてきました。

そこで、2月4日に委員会では、「地域サポーター制度」として以前から取り組んでいる日野市を視察しました。

日野市では、市長を総括責任者とし、職員を242自治会に割り振り、地域の支援が行われています。

そしてこの制度のもと、自治会長との地域懇談会や瓦版の発行など様々な取組みがなされています。地域によって温度差はあるということでしたが、職員が地域のことを知ることで大変勉強になっていることが大きい、との話でした。また、お祭りのときなどは、市民から大変喜ばれているそうです。

自治体の規模などの違いもありましたが、これからの瑞穂町の取組みを考えるうえでの参考になりました。



日野市担当者から説明を受けている様子

### 一部事務組合議会ニュース

#### 羽村・瑞穂地区学校給食組合議会

##### アレルギー対策について

近年、全国各地で学校給食による食物アレルギーの事故が多発しています。24年暮れ、多摩地区の自治体においても、アレルギーを持つ児童が学校給食を食べたことによる事故が発生しました。

羽村・瑞穂地区学校給食組合では、どのような対策が取られているのか、2月6日定例議会において一般質問なども出され、報告がありました。

給食組合からは、「栄養士、調理員、事務職による検討会議を21年度から行っており、24年9月に報告書をまとめた。」との話があり、その内容として、「アレルギーチェック表などを、学校を通じ現在111名に配布している。また、保護者の希望により、三者面談も行い、情報を共有している。施設では、調理場の一部を、アレルギー用調理スペースとして確保し、専用の機器を設置した。」などの報告がありました。

##### 子どもたちの絵が街を走る

24年度「学校給食に関する絵画コンクール」があり、羽村市と瑞穂町の小・中学生442名の応募がありました。

入賞作は25年1月から、給食センターの給食配送トラック6台に、12名の作品を拡大シールで張り出し、街を走っていますので、お近くを通ったら、子どもたちの絵をぜひご覧ください。



#### 公共交通特別委員会



JR東日本に対し、要望書を提出

1月21日に、JR東日本に対して、JR八高線の早期複線化や車輛基地の建設、運行本数の増発および新駅の設置を要望しました。また都府県に對して、多摩都市モノレールの箱根ヶ崎方面への延伸を要望しました。

モノレールが計画される新青梅街道の拡幅については事業認可されましたが、今後も公共交通の充実に向けて、粘り強く要望活動を行っていきます。

**JR東日本および都に對し、  
要望活動を行う**